

令和4年度事業報告書

1. 概況

令和4年度の受託事業収入は223,496,965円で、前年度実績額226,118,232円に対し2,621,267円、1.2%の減。また、受託件数は前年度4,291件に対し4,181件の110件、2.6%の減となりました。

会員の入退会状況は、入会者は男性60名、女性32名計92名で、退会者は男性35名、女性18名計53名であり、年度末における会員数は538名となり、前年度末会員数499名に対し39名の増となりました。

会員の年間就業率につきましては、78.4%(前年度81.8%)で前年度と比較して3.4%減となりました。

労働者派遣事業につきましては、受注件数41件、就業実人員50人、就業延人員3,525人日となりました。

有料職業紹介事業につきましては、実績がありませんでした。

安全就業対策では、会員の安全意識の高揚と就業上の事故防止を図るため、安全標語の募集(35点の応募)や機関紙での「熱中症予防」などの注意喚起を実施しました。

事故発生状況は、通勤途上の転倒等の傷害事故3件、刈払機の飛石等による破損の賠償事故12件、交通事故0件と計15件発生し、前年度と比較して9件増となりました。

普及啓発活動としては、センターの事業内容を継続して、家庭や事業所から理解を得るため、市内全域への朝刊折込、ケーブルテレビでのCM放映、はんだ市報への掲載、ホームページへの掲載、半田市リサイクルセンター発行の「家庭ごみの分別と資源の正しい出し方」パンフレットへのPR掲載、公共機関が主催するイベントへの参加等を実施し啓発に努めました。

そのほか、会員機関紙「シルバー通信」を毎月発行し、就業募集など会員への情報提供と就業機会の拡大に努めました。

ボランティア活動は、アイプラザ半田周辺の清掃活動を11月19日(39名参加)に実施しました。

技能講習会は、就業会員の技能向上を目的に、10月に襖張替講習会(4名受講)、1月と2月に筆耕講習会(2名受講)を開催しました。また、デジタル化推進を目的に、2月にスマートフォン教室(16名受講)を開催しました。

会員交流事業は、5月に「川柳コンテスト」、9月に「ボウリング大会」、2月に「フォトコンテスト」を開催し、会員同士の親睦を深めました。

相談事業では、常時施設内で希望者に対し、行っており、入会説明会では123名の参加がありました。

調査研究では、新規会員に就業希望調査を実施し、発注先には職員によりサービス内容等の向上を図るための聞き取りを行いました。

アイプラザ半田内喫茶「楽」の事業実績は、営業日数 250 日、来客数 7,908 人、売上金額 5,732,410 円となりました。店内での作品展示などの活用により会員交流の場にもなっています。

シルバーワンコインサービス「愛プラス 500」は、受託件数 31 件、一方、家事援助サービスは、受託件数 75 件の実績となりました。

またシルバー農園事業では、会員向け及び外部販売により、71,952 円の実績がありました。今後も収穫量の増加と安定や喫茶「楽」への食材提供を行い、積極的な活動を継続します。